

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 3-2-3

事務事業名	道路橋りょう事務	所属部門	建設都市整備課 管理係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

- ・職員の土木技術の知識向上のため、各種講習会へ参加
- ・道路関連団体への負担金支出
- ・道路及び橋りょう台帳を管理し、道路改良実施路線の台帳更新を行う。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕

引き続き、各種講習会に参加し、土木技術の知識向上を図る。  
また、課内の関係各係と連携を密にし、適切な台帳管理及び更新を行う。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円	44,000	0	44,000	44,000	44,000	44,000
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円	11,029,821	10,884,682	10,911,000	10,911,000	10,911,000	10,911,000
		一般財源	円	-6,264,002	-4,388,562	-246,000	-246,000	-246,000	-246,000
		事業費計(A)	円	4,809,819	6,496,120	10,709,000	10,709,000	10,709,000	10,709,000
投入量	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.1708	0.1538				
		人件費計(B)	円	1,328,750	1,199,325				
		トータルコスト(A+B)	円	6,138,569	7,695,445				

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 2-2-1

事務事業名	砂利採取事務	所属部門	建設都市整備課 管理係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕  
 根拠法令に基づき、砂利採取の事前協議、採取計画認可、計画変更の協議を行う。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕  
 引き続き、根拠法令に基づき事前協議等を行う。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	0	0	0	0	0	0
		事業費計(A)	円						
投入量	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.0210	0.0212				
		人件費計(B)	円	163,371	165,317				
		トータルコスト(A+B)	円	163,371	165,317				

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(通常)

総合計画  
施策番号 3-2-3

事務事業名	車両事務所施設維持管理事業	所属部門	建設都市整備課 管理係	
町長公約	車両センターの移転場所を検討し、方向性を確定後速やかな移転改築を目指します。また、センターの跡地利用については子育てや人口対策なども検討し有効な活用方法を決定します。		公約達成年次	2022年

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・車両センター事務所及び車庫の維持管理
2. 対象(何を対象にしているか) ・車両センター事務所及び車庫
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・迅速且つ適切な道路維持管理及び除雪対応を行うための拠点として、施設の維持管理を行う。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) ・施設を適切に維持管理することで迅速な道路維持管理が図られ、道路利用者の安全確保と道路利用に係る満足度が向上する。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定  
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 管理経費	円
②	
③	

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 施設数	箇所
②	
③	

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 管理経費	円
②	
③	

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 公共交通機関の利用に関する町民の満足度	%
② 冬期間の移動は安全安心と感じる町民の割合	%
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費							
	国・道支出金	円						
	地方債	円						
	その他(使用料等)	円	39,578	39,578	39,000	39,000	39,000	39,000
	一般財源	円	1,329,205	1,526,577	1,594,000	1,594,000	1,594,000	1,594,000
	事業費計(A)	円	1,368,783	1,566,155	1,633,000	1,633,000	1,633,000	1,633,000
人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
	人工数(業務量)	人工	0.0816	0.0757				
	人件費計(B)	円	634,813	590,305				
	トータルコスト(A+B)	円	2,003,596	2,156,460				
活動指標	①	円	1,368,783	1,566,155	1,633,000	1,633,000	1,633,000	1,633,000
	②							
	③							
対象指標	①	箇所	1	1	1	1	1	1
	②							
	③							
成果指標	①	円	1,368,783	1,566,155	1,633,000	1,633,000	1,633,000	1,633,000
	②							
	③							
上位成果指標	①	%	38.4	38.1	-	-	-	-
	②	%	-	-	70.7	70.7	70.7	70.7
	③							

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 昭和46年建築の現車両管理センターは、各施設共に老朽化が進んでおり、また、建築基準法の新耐震基準を満たしていないことから、早期の移転改築が必要である。	2. 今後の取組 (2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法) 老朽化している車両管理センターの移転改築に向け、スケジュールを整理し、早期の移転改築を目指す。
--	--

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 3-2-3

事務事業名	占用許可・使用料徴収事務(道路・河川)	所属 部門	建設都市整備課 管理係
町長公約			公約達成 年次
簡易シートを 選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕  
 事前協議、申請書受理・協議、審査及び決定、許可書送付、占用更新を行う。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕  
 引き続き、占用許可及び使用料徴収事務を適切に行う。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	0	0	0	0	0	0
		事業費計(A)	円						
投入量	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.2771	0.2748				
		人件費計(B)	円	2,155,717	2,142,877				
		トータルコスト(A+B)	円	2,155,717	2,142,877				

事務事業名	町道・歩道・駐車場等除排雪事業	所属部門	建設都市整備課 管理係
町長公約	冬期間の安全安心な交通環境確保のため、除雪機械の充実と効率的な作業体制の構築、除雪方法の検討を進めます。	公約達成年次	2022年

◆ 事務事業の目的と効果

1. 手段(事業の概要) ・町道の通行・安全を確保するための除排雪実施のための車両整備、除雪車両運転臨時職員を採用している。 ・町道、公共施設の除排雪を実施するため、除排雪計画を策定する。
2. 対象(何を対象にしているか) ・除雪実施町道及び歩道、除雪車両
3. 意図(この事業によって、対象をどのようにしたいか) ・降雪時に除雪を行い通行の安全を確保 ・迅速な除雪作業を行うために、車両を良好な状態に保つ。
4. 結果(意図のとおりになった場合、どんな結果に結びつくか) ・安全な通行の確保が図れる。

※各項目を評価するのにふさわしい指標を1つ以上設定  
(必ずしも3つの指標を設定する必要はありません)

5. 活動指標(手段や活動内容を表す指標)	単位
① 道路延長	m
② 歩道延長	m
③ 除雪車両運転臨時職員	人

6. 対象指標(対象の大きさを表す指標)	単位
① 除雪道路延長	m
② 除雪歩道延長	m
③ 除雪車両台数	台

7. 成果指標(意図の達成度を表す指標)	単位
① 除雪道路率	%
② 除雪歩道率	%
③ 事業費	円

8. 上位成果指標(結果の達成度を表す指標)	単位
① 冬期間の移動は安全安心と感じる町民の割合	%
②	
③	

◆ 総事業費・指標等の推移

内訳		単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度	
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円	3,512,179	3,245,051	3,961,000	3,961,000	3,961,000	3,961,000
		一般財源	円	75,617,157	85,080,671	77,132,000	77,132,000	77,132,000	77,132,000
		事業費計(A)	円	79,129,336	88,325,722	81,093,000	81,093,000	81,093,000	81,093,000
	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.4969	0.4641				
		人件費計(B)	円	3,865,666	3,619,030				
		トータルコスト(A+B)	円	82,995,002	91,944,752				
		活動指標	①	m	945,561.26	944,595.97	944,595.97	944,595.97	944,595.97
②	m		109,739.18	110,849.37	110,849.37	110,849.37	110,849.37	110,849.37	
③	人		16	14	16	16	16	16	
対象指標	①	m	666,300.00	667,800.00	667,800.00	667,800.00	667,800.00	667,800.00	
	②	m	72,200.00	72,200.00	72,200.00	72,200.00	72,200.00	72,200.00	
	③	台	24	24	24	24	24	24	
成果指標	①	%	70.47	70.62	70.62	70.62	70.62	70.62	
	②	%	65.79	65.13	65.13	65.13	65.13	65.13	
	③	円	79,129,336	88,325,722	81,093,000	81,093,000	81,093,000	81,093,000	
上位成果指標	①	%	47.9	52.2	70.7	70.7	70.7	70.7	
	②								
	③								

◆ 事務事業の現状と今後の取組

1. 事務事業の現状と課題 冬期間における町道の交通確保のためには、効率的・効果的な除排雪を行うことが必要である。そのため、除排雪計画を策定し、迅速な雪処理を行っている。しかし、除雪に対する住民ニーズは多様化・複雑化し、対応が求められている。	2. 今後の取組 (2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法) 住民ニーズの多様化・複雑化に対応した、持続可能な除排雪体制の構築を進める。 また、効率的・効果的な除排雪を目的とした、ICT(情報通信技術)導入の検討を進める。
--	--

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 3-2-3

事務事業名	町道認定・廃止事務	所属部門	建設都市整備課 管理係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金のみの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

[事業の概要・現状・課題]

町道の認定及び廃止等を行う。

[2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法]

引き続き、適宜町道の認定及び廃止等を行う。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	0	0	0	0	0	0
		事業費計(A)	円						
投入量	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.0139	0.0092				
		人件費計(B)	円	108,136	71,741				
		トータルコスト(A+B)	円	108,136	71,741				

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 3-1-1

事務事業名	堤内地水害対策事業(水路の強制排水等)	所属部門	建設都市整備課 管理係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金みの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕

- ・台風及び大雨などの影響で堤内地の流水が水位上昇した場合、強制排水により増水を未然に防止するとともに、樋門樋管の適切な維持管理に努め、堤内地を水害から守る。
- ・水害など災害時の道路や河川の修繕資機材、規制資機材、救命資機材の備蓄管理を行う。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕

引き続き、大雨時等には強制排水により堤内地を水害から守る。  
また、水害などの備蓄資機材等についても、引き続き適切な備蓄管理を行う。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円	1,578,494	1,706,622	1,688,000	1,688,000	1,688,000	1,688,000
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円	623,066	624,727	624,000	624,000	624,000	624,000
		一般財源	円	895,139	998,899	1,303,000	1,303,000	1,303,000	1,303,000
		事業費計(A)	円	3,096,699	3,330,248	3,615,000	3,615,000	3,615,000	3,615,000
人件費	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.2268	0.2171				
		人件費計(B)	円	1,764,405	1,692,935				
		トータルコスト(A+B)	円	4,861,104	5,023,183				

2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 3-2-3

事務事業名	土木車両維持管理事業	所属部門	建設都市整備課 管理係
町長公約			公約達成年次
簡易シートを選択した理由	<input type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input checked="" type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕  
 町道及び公共駐車場等の維持管理を行うために、土木車両運転手を採用し、ダンプ・グレーダー・ショベル・草刈車両等の土木車両維持管理を行う。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕  
 引き続き、土木車両運転手を採用し、土木車両の維持管理についても適切に行う。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円	323,568	756,887	1,008,000	1,008,000	1,008,000	1,008,000
		一般財源	円	18,215,592	25,817,569	20,180,000	20,180,000	20,180,000	20,180,000
		事業費計(A)	円	18,539,160	26,574,456	21,188,000	21,188,000	21,188,000	21,188,000
人件費	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.2734	0.2715				
		人件費計(B)	円	2,126,933	2,117,144				
		トータルコスト(A+B)	円	20,666,093	28,691,600				



2019年度（2018年度実績）事務事業マネジメントシート(簡易)

総合計画  
施策番号 3-2-3

事務事業名	道路・河川等整備要望事務(国・道)	所属 部門	建設都市整備課 管理係
町長公約			公約達成 年次
簡易シートを 選択した理由	<input checked="" type="checkbox"/> 予算を伴わない事業 <input type="checkbox"/> 計上予算が負担金・繰出金だけの事業 <input type="checkbox"/> 法定受託事務 <input type="checkbox"/> 政策体系に結びつかない事業 <input type="checkbox"/> 今後3年間で大きな変化が見込まれない事業		

〔事業の概要・現状・課題〕  
 国及び北海道が管理している道路・河川の改修や新設要望を行う。

〔2019年度及び2020年度以降の方向性・課題の解決方法〕  
 引き続き、国及び北海道に対し、強く要望を行う。

		内訳	単位	2017年度	2018年度	2019年度	2020年度	2021年度	2022年度
投入量	事業費	国・道支出金	円						
		地方債	円						
		その他(使用料等)	円						
		一般財源	円	0	0	0	0	0	0
		事業費計(A)	円						
投入量	人件費	正職員従事人数	人	2	2	2	2	2	2
		人工数(業務量)	人工	0.0169	0.0078				
		人件費計(B)	円	131,475	60,824				
		トータルコスト(A+B)	円	131,475	60,824				